

いたばし総合ボランティアセンター運営ビジョン 2030(最終案) 主な変更点【新旧対照表】  
(第6回協議会・パブリックコメント前後・第7回専門部会までの資料比較)

資料7-3  
令和5年12月19日

頁	新	旧	変更会議体及び 変更理由
5 下から 5行目	<p>なお、板橋区地域防災計画〔資料編：24頁参照〕に基づき、ボラセンは、区と社協と協働し、災害時のボランティア活動の拠点として「いたばし災害ボランティアセンター(以下、「災害ボラセン」という。))」を設置し、運営をします。</p>	<p>なお、災害時のボランティア活動の拠点については、「いたばし災害ボランティアセンター(以下、「災害ボラセン」という。))」を設置し、運営をします。</p>	<p>第6回協議会 ボラセンと災害ボラセンの因果関係が見えにくいため、ボラセンが災害ボラセンになることを明記した方よい。</p>
6 冒頭部 分 以降  他	<p>◎ビジョンとなる将来像・基本理念・組織戦略を実現するために、第3章で記載している「プラットフォームの構築」に向けた3つの方策を展開していきます。</p>	<p>◎ビジョンとなる将来像・基本理念・運営方針を実現するために、第3章で記載している「プラットフォームの構築」に向けた3つの方策を展開していきます。</p>	<p>区民環境委員会 運営方針が、ビジョンの中にあることに違和感がある。ミッション・ビジョン・バリューがもう少しわかりやすい方がいいのではないか。</p>
7 下から 5行目 4行目	<p>・ボラセンの運営上の方向性を定める会議体(運営委員会)及び、ボラセンの意思決定を行う会議体(役員会)を設置する。</p>	<p>(ア) 公募等により委員を募り、ボラセンの運営上の方向性を定める会議体を設置する。</p>	<p>第7回専門部会 運営委員会についての記載はあるが、役員会についての記載がないので明記した方がよい。</p>

頁	新	旧	変更会議体及び 変更理由																
10 最下部 の表	<p style="text-align: center;">＜表5:手法と事業展開＞</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">手法</th> <th>事業の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア システム・ルール等の導入</td> <td>①システム導入による情報の一元管理 ②オンライン上での情報共有機能 ③プラットフォームのルール化 ④プラットフォームについて丁寧な周知活動</td> </tr> <tr> <td>イ 既存事業の整備</td> <td>①相談機能・コーディネート強化 ②地域活動を支える人材育成(※) ③各主体との連携・協働強化(※) ④各主体による自主事業化・事業効率化を検討</td> </tr> <tr> <td>ウ 新たな視点での事業展開</td> <td>①インキュベーション機能<sup>28</sup>の強化</td> </tr> </tbody> </table> <p>※表中の下線部分「イ②」と「イ③」については、次頁で説明を記載しております。</p>	手法	事業の方向性	ア システム・ルール等の導入	①システム導入による情報の一元管理 ②オンライン上での情報共有機能 ③プラットフォームのルール化 ④プラットフォームについて丁寧な周知活動	イ 既存事業の整備	①相談機能・コーディネート強化 ②地域活動を支える人材育成(※) ③各主体との連携・協働強化(※) ④各主体による自主事業化・事業効率化を検討	ウ 新たな視点での事業展開	①インキュベーション機能 <sup>28</sup> の強化	<p style="text-align: center;">＜表5:手法と事業展開＞</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">手法</th> <th>事業の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア システム・ルール等の導入</td> <td>①システム導入による情報の一元管理 ②オンライン上での情報共有機能 ③プラットフォームのルール化 ④プラットフォームの周知</td> </tr> <tr> <td>イ 既存事業の整備</td> <td>①相談機能・コーディネート強化 ②地域活動を支える人材育成 ③各主体との連携・協働強化(次頁で方向性を提示) ④各主体による自主事業化・事業効率化を検討</td> </tr> <tr> <td>ウ 新たな視点での事業展開</td> <td>①インキュベーション機能<sup>27</sup>の強化</td> </tr> </tbody> </table>	手法	事業の方向性	ア システム・ルール等の導入	①システム導入による情報の一元管理 ②オンライン上での情報共有機能 ③プラットフォームのルール化 ④プラットフォームの周知	イ 既存事業の整備	①相談機能・コーディネート強化 ②地域活動を支える人材育成 ③各主体との連携・協働強化(次頁で方向性を提示) ④各主体による自主事業化・事業効率化を検討	ウ 新たな視点での事業展開	①インキュベーション機能 <sup>27</sup> の強化	<p>パブコメ プラットフォームが 分かりにくいという 指摘「表 5：手法と 事業展開 ア シス テム・ルール等の導 入」事業の方向性④ に「丁寧な周知活動」 という文言を追加</p>
手法	事業の方向性																		
ア システム・ルール等の導入	①システム導入による情報の一元管理 ②オンライン上での情報共有機能 ③プラットフォームのルール化 ④プラットフォームについて丁寧な周知活動																		
イ 既存事業の整備	①相談機能・コーディネート強化 ②地域活動を支える人材育成(※) ③各主体との連携・協働強化(※) ④各主体による自主事業化・事業効率化を検討																		
ウ 新たな視点での事業展開	①インキュベーション機能 <sup>28</sup> の強化																		
手法	事業の方向性																		
ア システム・ルール等の導入	①システム導入による情報の一元管理 ②オンライン上での情報共有機能 ③プラットフォームのルール化 ④プラットフォームの周知																		
イ 既存事業の整備	①相談機能・コーディネート強化 ②地域活動を支える人材育成 ③各主体との連携・協働強化(次頁で方向性を提示) ④各主体による自主事業化・事業効率化を検討																		
ウ 新たな視点での事業展開	①インキュベーション機能 <sup>27</sup> の強化																		
11 頁冒頭 部分	<p>活動を活性化するには、活動者の増加も重要であり、「イ 既存事業の整備」②地域活動を支える人材育成及び③各主体との連携・協働の強化について発展させる必要があります。</p> <p>例えば、②地域活動を支える人材育成については、次のような視点も重要になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsの視点を踏まえ、未来を担う子どもたちが活動に参加できる土壌の整備</li> <li>・地域の要望・課題と活動者のギャップを埋め、地域活動の継続・発展を促進する 等</li> </ul> <p>また、③各主体との連携・強化のための方向性は以下のような事が考えられます。</p>	<p>なお、「イ 既存事業の整備 ③各主体との連携・協働の強化」を行うにあたり、どのようなアプローチが必要なのか等、各主体ごとの方向性を以下のように示しています。</p>	<p>第6回協議会 委員からの下記意見により修正・追記。 地域を支える人材育成や活性化を切り出しても良いのでは。地域での人材不足を感じている。 未来の子どもたちへの人材育成という視点も大事。</p>																
13 7行目 (2段 落目)	<p>そのため、周知内容についてもユニバーサルデザインや、やさしい日本語を使用する等、国籍や世代等を問わず、誰もが分かりやすい内容で作成することが必要です。</p>	<p>記載なし</p>	<p>パブコメ 多文化共生の視点の必要性について指摘があったため</p>																

頁	新	旧	変更会議体及び 変更理由
23	1-7 パブリックコメント結果	記載なし	パブコメ 実施結果について、 内容を追加
24	1-8 板橋区地域防災計画 震災編（98 頁参照）	記載なし	第 6 回協議会 災害ボランティアセ ンターとボラセンの 因果関係を示すもの があるかという意見 を受けて資料追加
26	3-1 いたばし総合ボランティアセンターにおけるプラットフォーム	記載なし	第 6 回協議会 プラットフォームの 内容が分かりにくと いう意見を受けて資 料追記